

| | |
|--------------------|---|
| 大学名等 | 福島県立医科大学大学院医学研究科 |
| 教育プログラム・コース名 | 腫瘍腎臓病学インテンシブコース（インテンシブ）（テーマ①） |
| 対象職種・分野 | 医師、看護師、薬剤師など |
| 修業年限（期間） | 1年 |
| 養成すべき人材像 | 傍腫瘍症候群の一環としての腎疾患、及び化学療法関連腎障害、水・電解質代謝異常の診療やその支援を担当できる医療人を養成する |
| 修了要件・履修方法 | 本教育コースで定める科目について、オンラインもしくは対面で1時間を6回以上、合計6時間以上のセミナーを履修し、レポートを提出すること。レポートの審査の合格をもって修了とする。 |
| 履修科目等 | <履修内容> 腎生理学、腎病理学、水・電解質代謝学（特に傍腫瘍症候群と化学療法関連障害について特化した教育を行う） |
| がんに関する専門資格との連携 | （参考；腎臓専門医（日本腎臓学会）の研修施設として認定。） |
| 教育内容の特色等（新規性・独創性等） | 国内屈指のサイズとバリエーションを持ちかつ完全にデジタル化が完了してAI解析も可能な福島医大腎組織ライブラリを用いた実践的な腎臓病教育、Ca/P代謝ホメオスタシスの視点から腫瘍とCKD-MBDを融合させた病態生理学教育を通じて腫瘍腎臓病学の知識を深めることができる。 |
| 指導体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・福島県立医科大学医学部腎臓高血圧講座の教授以下、教員2～3名が中心となり指導する。 ・透析センタースタッフ、緩和ケアチームスタッフ、関連病院医師が共同で指導する。 |
| 修了者の進路・キャリアパス | <ul style="list-style-type: none"> ・県/地域がん診療連携拠点病院で、がん薬物療法中に発生する腎障害関連の有害事象に対応できる医療者として活躍する。 |